

平成 21 年度 NPO 法人もったいない学会通常総会

日 時 2009 年 5 月 21 日 (木) 15 時から 15 時 30 分

場 所 産業技術総合研究所臨海副都心センター本館 4 階 412 第 1 会議室

【総会資料】

■ 次第

1. 開会
2. 総会成立要件の確認
3. 会長挨拶
4. 議事録署名人の選出
5. 議長の選出
6. 議題審議
 - (1) 第 1 号議案 平成 20 年度事業報告及び決算報告の件
 - (2) 第 2 号議案 平成 21 年度事業計画及び予算計画の件
7. 閉会

第1号議案 平成20年度事業報告及び決算報告の件

I. 平成20年度事業報告

(概況)

皆様のご支援、ご協力のもと、社会に貢献できる学会に発展させるべく、平成20年度も精力的に活動を行いました。

以下に平成20年度の活動状況の詳細をご報告いたします。

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

以下のシンポジウムを実施しました。

(a) 第5回もったいない学会シンポジウム『低エネルギー社会を作ろう』

日時 2008年11月26日(水) 10:00~17:00

場所 東京大学 山上会館

参加者数: 73名

スウェーデンの脱石油政策---- Ms Lena Lindahl (持続可能なスウェーデン協会・日本代表)

省エネ新エネ活動の例2(Transition Town)----榎本英剛(トランジション・ジャパン)

省エネ新エネ活動の例3(岩手県の事例)----両角和夫(東北大学大学院農学研究科教授、NPOいわて

石油ピークが来たー世界恐慌の根源を解析する---石井吉徳(もったいない学会会長、東京大学名誉教授)

エネルギー不足が引き起こす日本の食料への深刻な影響----Antony F.F. Boys(東北大学大学院、農学研究科、非常勤講師)

低エネルギー社会への対応ー科学と現実ー ----大久保泰邦(もったいない学会監事、産総研)

2) サロンの開催

以下の8回のサロンを実施した。

2008年4月21日(月) 15:00~16:30

第1回サロン講演会 -アラスカ天然ガスパイプライン建設計画-

【会場】電力中央研究所 大手町 第一会議室

【講師】福田 正己 氏(アラスカ大学 国際北極圏研究センター)

参加者数: 20名

2008年5月20日(火) 15:00~17:30

第2回サロン講演会【会場】長瀬産業株式会社 (東京都中央区日本橋小舟町5-1)

【演題】韓国は石油ピークをどうとらえたか、韓国講演の感想

【講師】石井 吉徳 氏(もったいない学会会長 東京大学名誉教授)

【演題】ポスト石油ピーク時代を考える~都市、クリエイティブクラス、そしてイスラームの視点から~

【講師】山本 達也 氏(名古屋商科大学 外国語学部 専任講師)

参加者数: 25名

2008年6月17日(火) 15:00~16:30

第3回サロン講演会

【会場】昭和シェル石油株式会社 (東京都港区台場2-3-2)

【演題】リモートセンシング-環境の計測、予測から対策まで-

【講師】安岡 善文 氏(国立環境研究所理事、前東京大学生産技術研究所教授)

【概要】各種の衛星データ等を用いて、東京大学時代の研究を含めて講演

参加者数: 20名

2008年7月14日(月) 15:00~16:30

第4回サロン講演会

【会場】東京大学工学部4号館(旧)地球システム会議室

【演題】なぜ、日本ではもったいないという言葉が出来たか-農業生産と人口から見た世界と日本-

【講師】川島 博之 氏(農学国際専攻 国際開発環境学講座 国際環境経済学研究室 准教授)

【演題】滋賀県民のルーツ(哲学)三方良しを日本に広めることは可能か

【講師】辻村 琴美 氏 (MOH 通信編集長、コミュニティアーキテクト)
参加者数：20 名

2008 年 8 月 26 日 (火) 13:30~16:30

第 5 回サロン講演会

【会場】東京大学工学部 4 号館 3 階 地球汎用室 (429 室)

【演題】低エネルギー消費時代の自動車-ハイブリッド技術の将来-

【講師】八重樫 武久 氏 (トヨタテクニカルディベロップメント株式会社 技監、工学博士、元トヨタ自動車 理事)

【演題】洞爺湖サミットを振り返って

【講師】西村 六善 氏 (内閣府官房参与、元 外務省地球環境問題担当、特命全権大使)

参加者数：25 名

2008 年 9 月 30 日 (火) 15:00~16:30

第 6 回サロン講演会

【会場】長瀬産業株式会社 B1A 会議室 (東京都中央区日本橋小舟町 5-1)

【演題】オイルピーク後は自転車活用時代

【講師】小林 成基 氏 (NPO 法人自転車活用推進研究会 Bicycle Usase Promotion Study Group 事務局長 兼 理事長)

参加者数：25 名

2008 年 10 月 28 日 (火) 14:00~17:00

第 7 回サロン講演会

【会場】昭和シェル石油株式会社台場本社 21F 第 1 会議室 (東京都港区台場 2-3-2)

【演題】日本の地熱ポテンシャル

【講師】大久保 泰邦 氏 (もったいない学会監事、産業技術総合研究所)

【演題】日本の木質バイオ資源のポテンシャルと利用上の課題

【講師】中田 雅彦 氏 (もったいない学会理事、(株)テクノバ)

【演題】日本における小水力発電の可能性と問題点

【講師】小林 久 氏 (茨城大学地域環境科学科教授)

参加者数：20 名

2009 年 1 月 19 日 (月) 15:00~17:30

第 8 回サロン講演会

【会場】産総研臨海副都心センター別館 11F、会議室 1 (11205~6 室)

【演題】IEA WEO2008

【講師】小野 章昌氏 (元三井物産)

【演題】自然エネルギーの 2050 年ビジョンと持続地帯指標

【講師】松原 弘直氏 (環境エネルギー政策研究所)

参加者数：25 名

3) WEB 会誌発行

論文 5 件、解説 2 件、コラム 3 件、書評 1 件を掲載した。

4) 部会活動

部会とは、特定の目的に対して学会員の有志によって広く継続的に研究を行う集まりであり、現在のところ EPR 部会がある。平成 20 年度は以下のとおり、計 6 回の部会を開催し、シンポジウムを 1 回実施した。

4-1) EPR 部会

(a) シンポジウム

・もったいない学会 EPR 部会シンポジウム「石油ピーク後の課題・対策を E P R から考える」

日時：9 月 19 日 (金) 10:00-17:00 (9:30 開場、受付開始)

場所：東大 山上会館

参加者数：93 名

講演

石油ピークは日本社会に何をもたらすかーそのインパクトと文明的対応：石井吉徳 (東京大学名誉教授、もったいない学会会長)

リサイクル法の理念と現実の乖離と今後 保坂哲（環境アドバイザー）
原単位とEPR評価手法の標準化と評価例：天野 治（電中研、EPR部会長）
EPR手法を用いた話題提供

・もったいない学会 EPR 部会シンポジウム「EPRとは何か？次世代へのキーワード」—エネルギーの『質』と『日本のプランB』—

日時：2008年3月21日（金）13：30-17：00

場所：東京大学山上会館大会議室

参加者数：52名

石油ピークは日本社会に何をもちたらすか—そのインパクトと文明論的対応 石井 吉徳

EPRからの石油ピーク・少子高齢化へのアプローチ 天野 治

パネル討論

EPR視点からの分野毎の見直し、大学の取り組み、産業界の取り組み、少子高齢化への対応など

(b) EPR部会開催

平成20年4月15日（火）、5月27日（火）、6月24日（火）、7月17日（火）、8月25日（月）、10月7日（火）、11月14日（金）、12月16日（火）平成21年1月29日（木）、2月24日（火）、3月18日（水）はEPRWG（ワーキンググループ） 計11回開催

(c) 大学との連携（日本各地の大学を訪問し、EPRの啓蒙とEPR評価技術者を育てる）

東工大、九州大、東大、北大を実施

(d) 自治体との連携

東京都杉並区

4-2) 低エネルギー社会 WG

①低エネルギーWG 開催

2009年1月19日（月）13：30～14：45

産総研臨海副都心センター 別館

2009年3月6日（金）1時～5時

産総研臨海副都心センター 別館

②トランジション・タウン小金井との連携

2009年1月9日

武蔵小金井駅近くで会合

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

8回開催。

（平成20年4月、5月、6月、7月、9月、10月、12月、平成21年1月）

3. 会員の状況

会員の現況(平成21年3月31日現在)

正会員：149名

一般会員：175名

学生会員：16名

賛助会員：7名

計：347名

II. 平成20年度決算報告

下記資料を参照下さい。

- ・収支計算書
- ・貸借対照表
- ・財産目録
- ・監査報告

年度 20 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成20年 4月 1日から21年 3月31日まで

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

(単位:円)

科 目	金 額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入金金収入		
入金金収入	87,000	
会費収入	533,000	620,000
2 事業収入		
(1) 教育・啓発事業収入		603,000
(2) 事業収入		
3 補助金等収入		
地方公共団体補助金収入		
民間助成金収入		
4 寄付金収入		50,000
5 その他収入		
利息収入		
任意団体からの繰入金		
6 その他の事業会計からの繰入		
経常収入合計		1,273,000
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1) 情報提供事業費	235,830	
(2) 教育・啓発事業	697,414	933,244
2 管理費		
役員報酬	0	
給与手当	0	
振込手数料	3,935	
消耗品費	7,140	
通信運搬費	14,330	
印刷製本費	119,700	
事務委託料	50,000	
租税公課	0	195,105
経常支出合計		1,128,349
経常収支差額		144,651
III その他資金収入の部		
1 固定資産売却収入		
その他の資金収入合計		
IV その他資金支出の部		
1 固定資産取得支出		
その他の資金支出合計		
当期収支差額		144,651
前期繰越収支差額		533,403
次期繰越収支差額		678,054
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
1 資産増加額		144,651
当期収支差額(再掲)		144,651
2 負債減少額		0
増加額合計		144,651
VI 正味財産減少の部		
1 資産減少額		0
当期収支差額(再掲)(マイナスの場合)		0
2 負債増加額		0
減少額合計		0
当期正味財産増加額(又は減少額)		144,651
前期繰越正味財産額		533,403
当期正味財産合計		678,054

(注記)備考の5を参照

平成 20 年度

会計貸借対照表

平成21年 3月31日現在

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	678,054		
未収入金			
.....			
流 動 資 産 合 計		678,054	
2 固定資産			
土地			
建物			
車両運搬具			
.....			
固 定 資 産 合 計		0	
資 産 合 計			678,054
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
未払金			
.....			
流 動 負 債 合 計			
2 固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金			
.....			
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	533,403		
当期正味財産増減額	144,651	678,054	
正味財産合計			
負債及び正味財産合計			678,054

平成20年度

会計財産目録

平成21年 3月31日現在

特定非営利活動法人 石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金			
普通預金			
未収入金			
未収会費			
.....			
流動資産合計	678,054		
2 固定資産			
土地			
建物			
車両運搬具			
.....			
固定資産合計	0		
資産合計		678,054	
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
預り金			
.....			
流動負債合計	0		
2 固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金			
.....			
固定負債合計	0		
負債合計		0	
正味財産			678,054

監査報告書


私は、定款に基づき、平成 20 年度の事業報告書、収支決算書の監査をした結果、いずれも適正かつ正確に執行されていたことを認めます。

2009 年 5 月 20 日

もったいない学会

監事 大久保 泰邦

(自 書)

大久保 泰邦 

第 2 号議案 平成 21 年度事業計画及び予算計画の件

平成 21 年度事業計画 (案)

【方針】定款に記されている当法人の目的である「広く一般市民に“石油ピーク”を啓蒙し、石油を大切に使う方策を検討し、その知識、知恵を広く一般に広げることによって、心豊かな社会の実現に寄与すること」に向けて一層精力的に活動していきます。そのための有効な提言、関連組織との連携を進め、社会への浸透性を進めていきます。また、会員サービスも充実していきます。

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

平成 21 年度中にシンポジウムを 2 回開催する。地域での普及も重視した地方開催も予定しています。

2) サロンの開催

平成 21 年度中にサロンを 6 回開催する。

3) WEB 会誌発行

「もったいない学会 WEB 学会誌」の編集・公開業務を行う。特集号を企画する等して論理深度を深める。

4) 事務局機能・オンライン機能の整備

事務体制の確立とオンラインを利用した事務処理機能の向上を目指します。学会新規 WEB の立ち上げ。

5) 部会活動

部会とは、特定の目的に対して学会員の有志によって広く継続的に研究を行う集まりであり、現在のところ EPR 部会と低エネルギー社会 WG がある。

(a) EPR 部会

① EPR 部会および EPRWG 開催

EPR 部会および EPRWG を交互に月一回開催する。EPRWG は EPR の具体的評価のための会合である。

② シンポジウム、ワークショップの開催

シンポジウムを 9 月ごろに、ワークショップを 3 月ごろに開催する。

③ 大学との連携

北大、東北大、東工大、福井大、京大、九州大学を予定

④ 自治体との連携

東京都杉並区

(b) 低エネルギー社会 WG

① 低エネルギーWG 開催

2009 年 4 月 24 日 (金) 5 時半～7 時半

産総研秋葉原事業所 大会議室 2 (秋葉原ダイビル 1 1F)

2009 年 5 月 23 日 (土) 13:00～

産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館会議室

計 6 回程度開催予定

② ホームページの立ち上げ

③ 日本工学アカデミーとの連携

人類未来戦略フォーラムとの連携

④ 外部資金獲得のための応募

NPO 法人チャリティ・プラットフォーム 2008 年度 NPO 支援事業助成プログラムに応募

⑤ トランジション・タウンとの連携

⑥ 一新塾「2030 ビジョン」との連携

討論会参加

グループメールによる討論

6) 表彰など

顕著な事業を行っている活動者・団体を顕彰する。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

平成 21 年度中に 6 回開催する。

2) 総会

通常総会を 1 回開催し、必要に応じて臨時総会を開催する。

平成 21 年度 予算 (案)		(単位 : 円)	
収入の部		支出の部	
項目	予算	項目	予算
会費収入	815,000	事業費	1,090,000
正・一般・学生会員	500,000	シンポジウム開催 (4 回分)	1,000,000
賛助会員	300,000	WEB サーバレンタル費	60,000
正会員入会金	15,000	WEB 会誌編集費	30,000
		総会・理事会・サロン開催費	0
事業収入	600,000		
シンポジウム開催 (2 回分)	300,000		
EPR 部会シンポジウム (2 回分)	300,000	管理費	325,000
		事務作業委託費	200,000
		振込手数料	10,000
		消耗品費	70,000
		通信運搬費	40,000
		租税公課	5,000
小計	1,415,000	小計	1,415,000
昨年度からの繰越金	678,054	予備費	678,054
収入合計	2,093,054	支出合計	2,093,054